

# ひめまつ

52

宇都宮短期大学附属高等学校生徒会

ひめまつ 目次

(第五十二号)

表紙絵……吉澤由実

題字……石川木魚

写真……写真部・編集部

随想

那須大学の開学について……

校長 須賀

淳……1

那須大学特集

現地で起工式行わる……

積極性忘れずに

(生徒会会長に就任して)

権名 陽介……6

可能性を信じて

(任期を終えて思うこと)

齋藤やよい……7

声

私の失敗談……

8

「おでんは」と「おでんわ」

三年 竹田 知恵

私の大声

三年 堀江 佐知子

「ファスナー全開だよ」

三年 齋藤 智美

初心忘るべからず

三年 山田 晴海

ダブルミスに思う

三年 手塚 眞子

役を理解してない

三年 沼尾 真理子

照れ笑い  
おつりの間違い  
言葉の意味  
母のひとこと

三年 町田 麗子  
三年 小田林 千秋  
三年 関 未織  
三年 瀬下 美奈

小さな不注意大きな怪我

三年 赤間 智美

経 験

三年 長谷川 勇司

マイペース

三年 新井 美江

\*心に強く響くもの(校内読書感想文入賞作品)

「破 戒」

三年 紅谷 知影子

「銀河鉄道の夜」

二年 富岡 尚子

「終戦直後」

三年 濱島 純子

「路傍の石」

一年 佐藤 誉詩子

「大地の子」

三年 栗田 裕子

「砂の女」

一年 荒川 ふみ

「ほんとうの私を求めて」

二年 吉新 拓世

「人間失格」

一年 荒川 和洋

「こころ」

二年 山崎 久隆

作品集

俳句と短歌

(二年)

稲垣 操・阿久津俊彦・伊東 則孝・草野 将敬  
斉藤 洋之・斉藤 誠・酒主 宏美・館野 正憲  
外崎 龍宏・仲島 啓輔・生井 祐貴・渡辺 健太  
高橋 克枝・熊倉 章絵・島崎 大輔

☆あとらんだむ

自由作品 (三年) 会話とは聞くこと

鈴木 千晶

心の絆―それは挨拶  
〔二年〕 思春期の心身を学ぶ  
合宿に学ぶ

葉師寺 渚  
佐藤 友紀  
関 照夫

〈この一年を顧みて〉  
〔旧二年〕 冬木 千枝・高橋 晴美・田口 宏明・斎藤 純恵  
〔旧一年〕 宮地 直哉・篠原 瞳・関根 直洋・石田 慶樹・田上 裕一

### 月関西・四国・大洗・那須の旅

〔三年〕 歴史ある京都

土田 可奈子

同じコースを旅したい

和気 ゆり恵

涙のエピソード

鈴木 敦子

高野山に学ぶ

生沢 玲子

それは最高の旅だった

加藤 裕子

海と友情と

小松本 恵

〔二年〕 一日旅行に思う

古溝 裕一郎

### 招待席

地球は揺れていた―沖縄の旅  
思い出の二号館と私  
新体操との出会い

教諭 神山 稔  
講師 森下 脩徳  
教諭 横山 由香子

あいさつの先取り  
詩・青の飛翔

教諭 和久 誠  
教諭 大谷 武

### わがホームルームの紹介

一年・二年・三年

### 委員会・クラブ報告

風紀・保健・図書・茶道・華道・写真・奉仕・理科・女子バスケットボール・卓球・新体操・剣道  
弓道・水泳・服飾手芸・書道・編集

### ★学園告知板

・本館棟棟完成  
・校長先生、自治・厚生大臣の表彰  
・「教生」母校に帰る 他

### 附属中ゴイナ

・この一年間のおもな活躍  
少年の主張河宇地区発表大会優秀賞  
・読書感想文入賞作品  
・自由作文入賞作品

〔三年〕 岩尾 麻子 他  
〔三年〕 落合 亮介  
〔二年〕 西川 由理  
〔二年〕 吉新 井子  
〔二年〕 西川 由理  
〔二年〕 中村 華江  
〔二年〕 星野 佑輔

### ◎平成九年度生徒会報告

- 就職状況
- 職員住所録
- 編集後記

# 学園の四季



▲過去最高の受験生12,350名を迎えた平成10年度の推薦入試  
(12月12日、13日)



▲私にも滑れますー楽しい日光スケート教室 (平成9年1月10日)



(10月14日)



▶第12回高校クッキング選手権の決勝大会に出場する本校チーム (11月12日)



くささいと献血の日 (12月4日)

宇都宮短期大学附属中学・高等学校

## 校歌

作詩 菅谷徳次郎  
作曲 野原幸夫

ふたらのたかねをはるかにおぎ  
にわもにしげれるひめまつこまつ

まかなびのみちすじはまさきくあれと  
かたみにちかいていそしみはげむ

おまなびのにおわこそげにうたけれ  
あわれれとめうたここのまなびや

### 校歌

- 一 二荒の高嶺を 遙かに仰ぎ  
学びの道筋を まさきくあれと  
かたみに誓いて いそしみ励む  
教への庭こそ げに尊けれ  
あわれ尊 この学びや
- 二 庭面に茂れる 姫松小松  
変わらぬ操は 千代万代と  
かたみに祝いて いそしみ励む  
学びの庭こそ げに芽出度けれ  
あわれ芽出度 この学びや

▶校長先生が担任の先生を紹介(4月9日)



▲生徒会長の新入生歓迎のことば(4月10日)

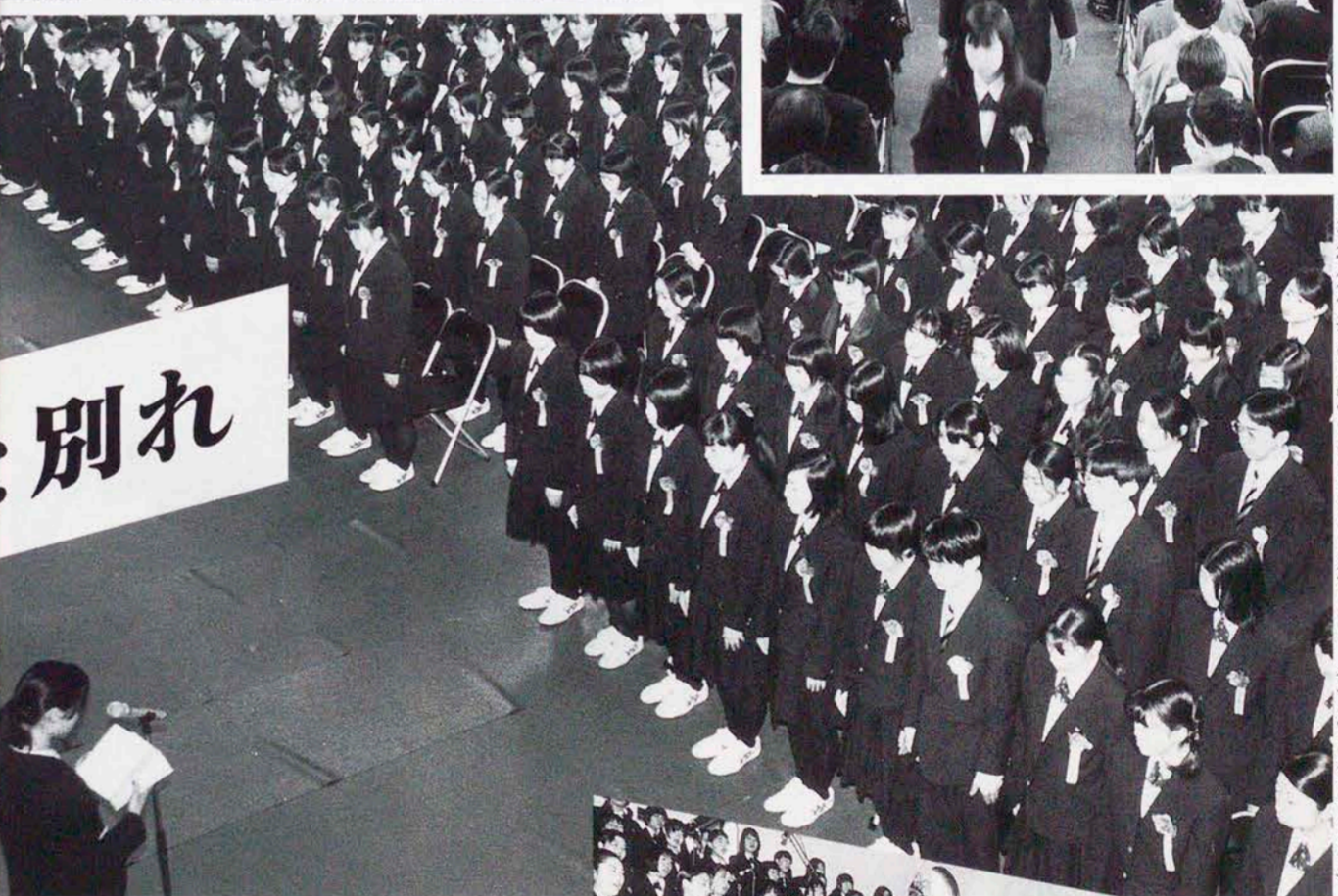


◀感謝の心でいよいよ卒業生の答辞(平成9年3月3日)



◀いま巣立ちゆく卒業生(平成9年3月3日)

▶新しい友を迎えた入学式(4月9日)



◀在校生代表のお別れのことばに送られて(平成9年3月3日)



▲新入生代表のお礼のことば(4月10日)

▶一日入学でクラス分けの発表(3月25日)



▶アトラクションでいきやかに卒業生を送る会(平成9年2月27日)



▲卒業式を盛り上げる音楽科のオーケストラとコーラス(平成9年3月3日)

随想

那須大学の開学について

校長 須賀 淳

あつし



育成することは、日本が活力ある社会に発展していくうえで不可欠です。私は、このような社会の要請にこたえて、地域社会と共生しながら、より豊かな社会システムを構築する場として、那須大学都市経済学部を創設して、栃木県内の高等教育機関の創造的進歩に貢献したいと考えたのです。

須賀学園は、間もなく創立百周年を迎えようとしています。明治三十三年（一九〇〇年）の創立で、卒業生は三万八千名をこえ、現在、中学、高校、短大に三千数百名の学生生徒が学んでいます。そしていよいよ平成十一年四月には那須大学が開学します。

本学園は、「人間形成の教育」を建学の精神としてきました。二十一世紀が始まろうとしている今日、社会の変化に対応できる、個性ある人材や創造的な人材を



折鶴によるモノトーンの世界 (普通科)

華やかに



▲ワープロ館での実習 (情報商業科)

学校祭



▶オペレッタ「サウンド・オブ・ミュージック」



◀お手のものの各種料理を紹介 (調理科)

生徒会役員

- |  |   |   |  |   |   |
|--|---|---|--|---|---|
| <br>川又のぞみ | <br>大塚麻紀 | <br>丹波悦子   | <br>今村千尋  | <br>椎名陽介 | <br>山本 梢 |
| <br>仲島啓輔  | <br>下里 駿 | <br>日賀野 琢実 | <br>大竹由希子 | <br>長岡千陽 | <br>山本 梢 |

会計

会計

副会長

副会長

会長

議長団

議長団

議長団

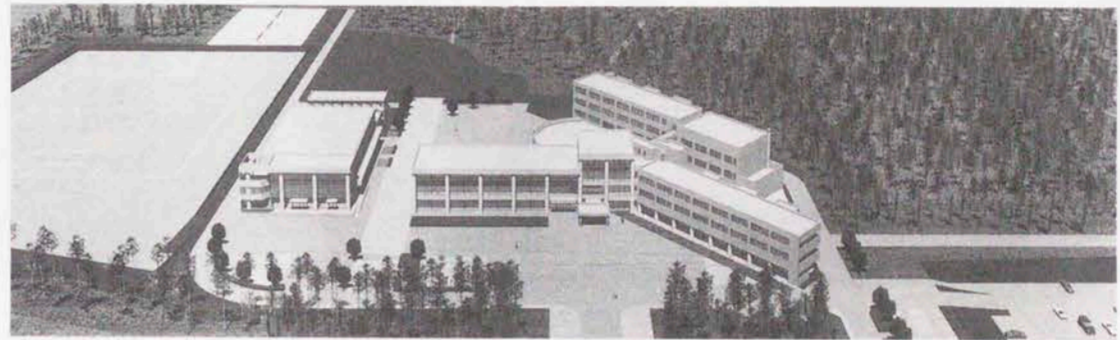
議長団

議長団

庶務

庶務

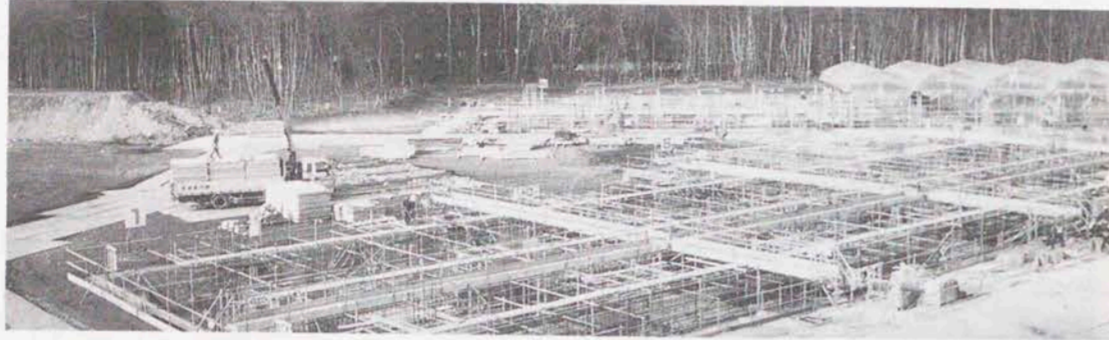
◀ 那須大学の完成図



都市には固有の経済問題があります。都市が生産と生活の拠点となつていくことから生じる地価上昇や住宅難、乱開発、環境悪化、高齢者介護などいろいろな問題が生じています。これらを直視して、とくにその経済的側面について総合的な教育研究を行なおうとするのが都市経済学です。

栃木県内の高校生の大学進学率は上昇を続け、平成八年度は四七・四％と、この十年間で一一・五％も上昇しています。また、栃木県では、人口の社会増が続き、昨春秋には県の人口が二百万人を突破しました。栃木県の次に大きい岡山県は、人口が百九十万人でストップします。このように日本で二百万人になる県は出ないとの厚生省の発表でした。このように発展を続けている栃木県内の高校生が、大学に進学する場合の県内残留率は、十五％と情けない状況にあります。各県平均残留率が三十六％ですから、栃木県は半分以下で、全国第三十六位という低位にあります。これは、栃木県が東京に近いということもありますが、県内に立派な大学が少ないということが大きな原因です。とくに県北部地域には、一般の大学は皆無という状態です。このため、栃木県や、地方公共団体、経済団体、県高等学校長会等から、本学園に対して大学設置の要望書が提出されており、とくに黒磯市は県北の大学空白地域を埋めるため大学誘致を市の最大の施策に掲げています。さらに栃木県

▶ 建設工事が急ピッチで進む那須大学



および黒磯市においては、多額の補助金を平成九年度から那須大学に交付することが県、市の議会で議決されました。

那須大学が開学する那須の地こそ都市経済学を教育研究するのにふさわしい地域であると思います。東京から那須塩原駅まで新幹線で七十分（駅前から大学まで立派な道路が通り、JRバスで六分です）、ハイテクとリゾートが共生して都市化が進展しています。さらに那須地域は国の首都機能移転の最有力候補地でもあります。

栃木県の経済発展はめざましく、多数の先端産業が進出してきています。したがって、求人倍率も全国平均を大きく上回り、平成八年度の大学新卒者の就職率は九一・六％というたいへん恵まれた環境にあります。那須大学は、栃木県、市町村、経済団体等からの強い要望と期待をもって設立されるわけですから、卒業生は「地域に役立つ実務に強い人材」として、県、市町村、企業等に確実に受け入れられるよう公私一体となった体制がしかれています。

本学園の保護者の皆様や生徒の皆さんの大きな御支援をお願いします。

▶ 黒磯市幹部職員の見学



## 那須大学特集

# 現地で起工式行わる

## 那須大学開学準備進む

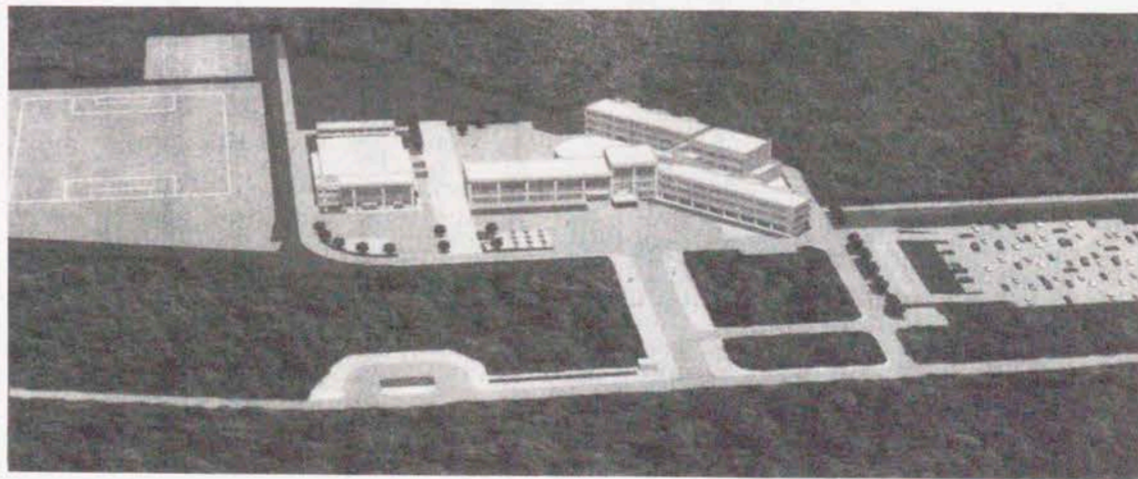
本学園が創立百周年記念事業として一九九九年（平成十一年）四月に開学する那須大学については、学校新聞「若鮎」二十二号でもお知らせしましたが、現在開学に向けての準備が急ピッチで進められています。



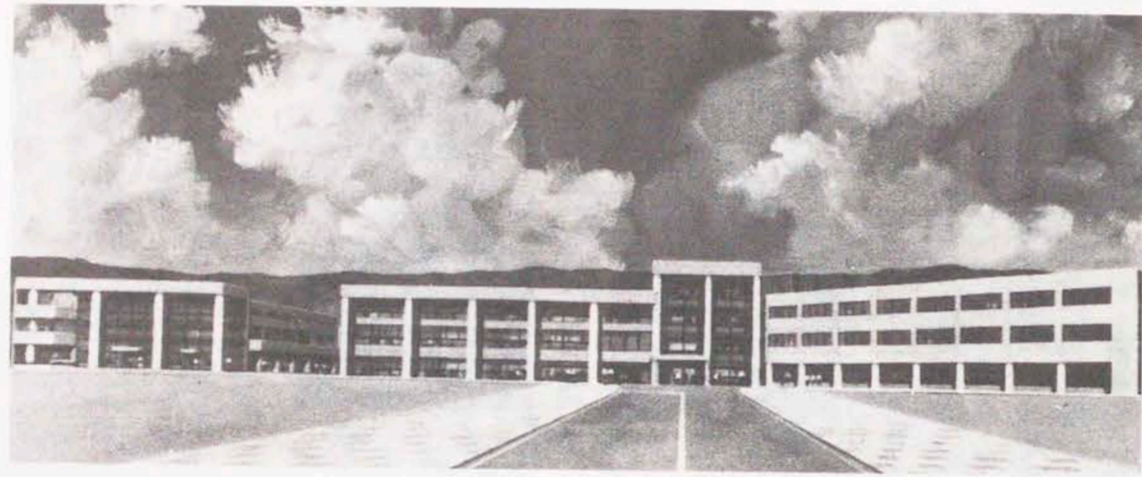
▲鉄入れを行う校長先生

本学園創立記念日である文化の日の十一月三日には、黒磯市鹿野崎の現地で、藤田政壽・黒磯市長をはじめ地元の方々、学園側からは理事長の須賀校長先生が出席して起工式が行われました。

校長先生の力強い掛け声とともに鉄が打ちおろされ、建設工事が始まりました。



▲キャンパスの俯瞰図



▲正面からみた校舎の完成予想図

「地域に立脚し、二十一世紀に生きる人材を育成する」ことをめざす那須大学は、快適な那須高原の一角に位置して、那須連山を見渡す自然林の中にキャンパスがあります。

春夏秋冬にわたって、美しい自然の変化に恵まれており、しかも首都東京からも近く、首都機能移転の有力候補地としても注目を集めています。

### 【都市経済学部】

四年制の那須大学は、現代の国際化や情報化に即応して、学び、働き、生活するレベルでの実践を行うもので、わが国初の都市経済学部（定員二〇〇名）です。内容は、都市のあらゆる経済問題、たとえば住宅、交通、ゴミ、騒音公害、福祉、資源環境などを、各観点から総合的に研究教育し、それを実践していくものです。

行政や法律、経済政策や経済分析にとどまらず、社会福祉、住宅、地域社会など、都市現象のすべてにわたる学問を究める特色ある学部です。さらにまた、時代の要請に対応して「社会人、留学生、帰国子女の受け入れ」や「三

年次編入」なども配慮されています。

### 【環境と施設】

キャンパスは総面積二十ヘクタールの広大な敷地に明るく清潔な校舎が建設されます。

メインとなる研究・管理棟（四階建）はじめ、講義・厚生棟には、食堂、購読・医務室もあります。図書館・情報棟（三階建）は教育研究の中核となる所で、コンピューター実習室や情報メディアコーナー（二階）図書館（二、三階）さらに体育館（二階建）など延べ建面積一万三千七平方メートルです。さらにまた広々としたサッカー場やテニスコート、駐車場などがあります。

本校からすでに多数の入学希望者があり、指定校推薦入学の途が開かれる予定です。



# 学園告知板

## 東棟完成し使用開始

### 三、四階は附中生の教室に

本館の旧正面玄関を解体して、その跡地に新しく東棟が完成し、昨年四月から使用しています。

一階は玄関、ロビー、事務室、二階は理事長応接室と会議室で、そして三階と四階の普通教室には附中の生徒が入室しました。

特に、一階のアプローチは石張りで、スムーズに車の出入りができるように、応接ロビーも広くてゆったりしており、また事務室は外来者と在校生の受け付けがわかれていて大変機能的になりました。

鉄筋コンクリート造り四階建ての延べ面積は千三百七十一平方メートルです。

なお、長い間、「本校の顔」として親しまれてきました旧玄関は、惜しまれ



▲新築成った東棟正面玄関

ながら姿を消しましたが、本誌上に残すため、写真を掲載いたしました。



▲懐かしい旧正面玄関

## 須賀校長先生が

### 自治・厚生大臣表彰

須賀校長先生が十一月に、自治大臣と厚生大臣から平成九年度の功労者として表彰を受けました。

自治大臣の表彰は、公安委員長を勤めるなど地方自治に貢献したため、ま

た厚生大臣の表彰は、本校に調理科を設け、調理師養成などに尽力したためです。

厚生大臣表彰は十一月二十七日厚生省で行われ、須賀校長先生が全国の受彰者を代表して表彰をうけました。



▲小泉厚生大臣から全国の功労者を代表して表彰を受ける須賀校長先生(右)

## 礼状

### 手づくりの品に礼状

平成十年度の本校入試説明会は九月十八日、須賀栄子記念講堂で開かれ県内外の中学校百七十校から進学指導主事や三年学年主任の先生方百八十名が出席しました。

その折に、生活教養科二年生が作った「ガトーショコラ」と同じく三年生が二十枚のステンドグラスをはめ込んで作った鏡をおみやげにさし上げたところ、心のこもった手づくりの品々に、たくさんの方からお礼状をいただきました。そのうちの、一つを紹介させていただきます。

過日の高校入試説明会では、須賀校長先生はじめ多くの先生方に大変お世話になりました。また、帰りには、江連尚代さんのガトー・ショコラをおみやげに頂きありがとうございました。帰宅後、家族のそろったところで箱を開けますと、「あら、おいしそう」と娘(二十歳)の第一声でした。私はコーヒーに砂糖を入れないで、何か甘いものを一緒に食べる習慣がありますので、早速賞味させていただきました。くるみもアーモンドも、ふんだんに使われとても美味しかったです。ごちそうさまでした。普段の学習の成果ですね。

これからも益々勉学にご精進されま

だきます。御指導の先生にもよろしくお伝え下さい。

栃木市立寺尾中学校

野尻和孝先生より

二年十七組

江連尚子さんへ

### お年寄りに贈物

生徒会では昨年も敬老の日に、職員・生徒の中で同居している七十歳以上のお年寄りに「電気つき拡大鏡」をお贈りしました。

拝啓

一雨ごとに秋気が深くなってまいりました。私は二年六組、船山恵末の祖父、船山謙助と申します。

このたびは、敬老の日にあたり貴校生徒会御一同様よりお心のこもったお祝いの品を頂き、まことにありがとうございます。私は当年七十四歳、妻が七十二歳、母が九十五歳の長寿に恵まれ、元気に過ごしておりますが、三人分のライト付き拡大鏡を頂戴し便利に使わせて貰っております。生徒会の

皆様によりしくご伝言下さい。  
尚往年のことになります。私は宇都宮工業学校に在学中、理事長様のお父上様である須賀友正先生より、物理をお教えいただき、また同先生のお作曲になる校歌「亀城の西に鐘え立つ」を歌った思い出があり、現在はお孫娘がお世話になるといふ、宇短附高校との浅からざる御縁に感謝の念で一杯でございます。

私共は皆様にご迷惑をかけながらも健康に留意し、世のため、人のために余生を送ればと願っております。未筆になりましたが、御校の益々のご発展をお祈りいたし御礼のことばに替えさせていただきます。

九月十五日

敬具

二年六組 船山 恵末  
祖父 船山 謙助  
(喜連川町)

拝啓

朝夕の風が快い季節になりました。平素から孫ひとみがかとお世話になり、御指導いただきまして有難うござ

ざいます。

さて、この度は御丁寧なるお品をいただきまして心から嬉しく厚く御礼申し上げます。

私共の方こそお世話になっておりますのに、このようなお心づかいをいただき恐縮しております。

これからは小さな活字も、このライト付き拡大鏡で楽に見えますので、読書の秋を満喫したいと思います。

先ずは取り急ぎお礼申し上げます。今後生徒会の益々の御繁栄を祈念申し上げます。

平成九年九月十五日

二年二十六組 齋藤ひとみ

祖父 齋藤 勇  
祖母 愛子  
(宇都宮市)

前略

敬老の日の心のもった御祝いのお品を有難う御座いました。

どんなにうれしかったことでしょうか。感激の余り年賀状以外に筆を取ったことのない私ですが、思わず皆様「ありがとう」とございました」の声をお届け

したくて筆を取りました。

昨日のことでした。孫の真紀が「おばちゃん、敬老の日おめでとうござい

ます」と、はつきり丁寧な挨拶と爽やかな笑顔で、お祝いのお品を手渡してくれたのです。その時の、その笑顔は何と純真な美しい笑顔だったでしょう。

考えると、お祝いをされる方も、する方も気持ちのよい心のときめきを感じたものと思います。まだ一度もお目にかかったことはありませんが、皆様の純真な笑顔と御指導に当たられた校長先生はじめ諸先生方に深く感謝申し上げます。

この様な優しい気持ちをはぐくんだ素敵な学校に入学出来た真紀は本当に幸せだと喜びでいっぱいです。

誠にありがとうございます。私の気持ちをくみ取って下さりたくお願い致します。

皆様の御健康と益々の御発展をお祈りします。

九月十五日

二年十組 稲葉 真紀

祖母 稲葉キミエ

この度は敬老の日を記念して何よりの贈り物を頂戴いたしました誠に有難うございました。

六十歳の半ばごろまでは、皆様からおほめを頂く程の視力も、寄る年波には勝てず、この頃字を拾うのがとてもおつづくに感じていたところ、御校生徒会よりライト付き拡大鏡を賜わり、世の中が明るく変わった様にさえ感じられてとても嬉しく存じました。

生徒会の皆様おひとり、おひとりにお会いして心よりのお礼のご挨拶を申し上げたい程歎びで胸がいっぱいでございます。

どうぞ皆さまも宇短附生徒の本分を忘れず、呉々も健康に注意して、目前に迫る、輝かしい二十一世紀の中堅として大きく羽ばたいて下さることをお祈り申し上げます。

とり敢えず紙上を以ってお礼に換えさせていただきます。かしこ

九月十五日

二年十一組 阿見利加子

祖母 阿見トリ  
(矢板市)

草叢に虫のすだく声が心地良く聞こえ、朝夕は初秋を感じられ、大分涼しくなっております。

此の度は生徒会の皆様より真心のこもるお便りと記念品を頂戴いたしました誠に有難うございました。皆様の温かく細やかなお心遣いにふれ大変感激いたしましたして居ります。

日頃、細かな字のための拡大鏡を求めたいと思つて居りました折に、この様な立派で便利なお品を頂きまして大変うれしく思います。

感謝いたしましたして大切に使用させていただきます。

皆様もどうぞ大きな夢の実現を目指して何事も前向きなプラス思考で邁進なさいますように陰ながらお祈りいたしております。

未筆ながら校長先生始め全校の皆様への御健康を心よりお祈り申し上げます。

平成九年九月十五日

附属中三年二組 落合亮介

祖母 菊池予里子  
(宇都宮)

生徒会一同様

謹啓

此の度生徒会より貴重な拡大鏡を戴き年寄りに対するお心使い誠に有難うございました。厚く御礼申し上げます。

現在の年寄りは本当に幸せだと思います。これからは自身を大切に一日でも長く笑って生活出来るよう体を大切に

して頑張ります。以前は唯々働けばよかったのですが現在は勉強勉強で過ごし、楽しみも少ないことですが、自身の為に努力し、また社会の為に貢献して下さるようお願い致し、出費の多い処戴きまして感謝申し上げます。

誠に簡単ではございますがお礼の御挨拶と致します。敬具

平成九年九月十五日

二年八組 小井田 充

祖父 小井田 央

宇都宮短期大学附属高等学校

生徒会御一同様

(小山市)

拝復

このたびは敬老の日に当たり、お便り並びに記念品をご恵贈いただきま

とにありがとうございます。私も六十歳を迎えたころから老眼鏡のみでは不自由のため、極小の文字には大きめの虫めがねを使用しておりました。皆様から頂戴いたしましたライト付き拡大鏡は、まことに鮮明に読みとることができ、生涯の友として活用させていただきます。孫のお友達の皆様からのご厚意は特に嬉しく感謝しております。皆様も勉学に励み体位の向上をはかって二十一世紀の担い手として活躍くださいますようお願いいたします。本当にありがとうございます。

敬具

平成九年九月十五日  
二年一組 大島芽衣子  
祖父 大島 保寿  
宇都宮短期大学附属高等学校  
生徒会ご一同様  
(宇都宮市)

### 写真部また準優勝

写真部(部長 吉永智則)では平成九年度の高文連写真展に、今年も前年度に引つづき準優勝を勝ち取りました。また、個人の部では三年の澤本玲子さんの作品「先生の笑顔に送られて—卒業式の日—」が見事、特選三名のうち的一名に選ばれました。卒業式と



澤本さんの作品「先生の笑顔に送られて—卒業式の日—」

### 姉妹校から留学生

本校と姉妹校のニュージーランド・ハウィックカレッジから二名の派遣高校生が来校し、十二月九日から一月三十一日まで体験学習しました。この二人は宇都宮市が、姉妹都市のマヌカウ市から招いた留学生たちで、ロバート君(十七歳)とエイミーさん(十五歳)でそれぞれ本校の生徒宅にホームステイした。二年生と一年生のクラスに分かれて一般教科のほか、茶道、調理、珠算、書道などに取り組んでいました。



▲松島教生の家庭科研究授業

### 家庭

#### 生徒に飛び込む努力

東京家政大学 松島愛実  
二週間の教育実習も無事に終了しました。あつという間の二週間でしたが、その短い期間の中で、先生からも生徒

からも沢山のことを学ぶことが出来、その機会を与えて頂き有難うございました。

私がこの教育実習を行う上で、先ず念頭に置いていたことは、「自分から進んで生徒の中へ飛び込む努力をする。」ことでした。今この二週間を振り返ってみて、このことを達成することが出来たかどうか、を自分自身では良く分かりませんが、努力は一生懸命したつもりです。ある一人の生徒について振り返ってみると、自分が行った努力の仕方は間違っていないかったのだと、自分自身でそう解釈しています。全く私の顔を見ようとせず、一言も話をしてくれなかった生徒が、教育実習終了の二日前に少しですが、本当に少しですが、言葉を返してくれ、その上、最後の日の感想文に六行もの言葉をイラスト入りで書いてくれたのです。そのことが何よりも嬉しく、何よりも良い思い出となりました。

実習中の反省点として、先ず第一に挙げられることは、担当の先生に対しての私の態度であると思います。初めのうちは、ゼロからすべてを学ぶつも

りでしたのですが、日がたつにつれ、自分の考えが先行してしまつたことを深く反省しております。先輩の指導を謙虚に受け取ることが出来ず、私のために時間をさいて頂いていたのにもかかわらず、また先生の教育方針について理解することが出来ずマイペースに事を進めてしまっていました。

次に挙げられることは、生徒にあまり強く出ることが出来なかつたことです。特に掃除に関してですが、初めのうちは、まだ慣れていないせいで、きつと後半になれば強く出ることが出来ると思っていました。しかし、それも最後の日のみの実行で終了してしまいました。最後の一回でも実行出来たことは良かったのかなと自己満足しています。

三つ目として、これは私の致命的な点なのですが、緊張してしまつと、どうしても早口になり、さらに声が小さくなってしまつてしまいます。このことは、研究授業までの間、沢山の先生に注意を受けた点であるにもかかわらず、研究授業でも改めることが出来なかつたのです。ただ、実習授業の中の被服や

## 校 史 と 校 章

21世紀の幕明けとなる平成12年は、本校の創立100周年にあたります。その記念事業として、平成11年には那須大学が開学の子定で、現在開学に向けての準備が急ピッチで進められています。

本校は明治33年に須賀栄子先生によって創立されました。須賀栄子先生は、女子に最も適切な技芸を教授し、その時代と境遇とに順応すべき実践的婦人の養成を教育の主旨とし、共和裁縫教習所から、共和裁縫女学校、宇都宮須賀女学校、宇都宮女子高等職業学校と校名を改め、発展させてゆかれました。その後を須賀友正先生が受け継がれ、学制改革により、宇都宮須賀高等学校となり、さらに、宇都宮短期大学を設置し、高校も宇都宮短期大学附属高校と改名されました。友正先生の後を受け継がれたのが、現校長先生でいらっしゃる須賀 淳先生です。先生は宇都宮短期大学附属中学校を設置し、ますます学校を発展させて、現在に至っております。

我が校の生活目標である「一人は一校を代表する」という言葉の意味は、生徒一人一人が、それぞれに、本校生徒としての価値を知り、その価値を自覚することこそ、人間の大きな喜びにつながり、幸福への第一歩であるというものです。学校はそのあり方を勉強する場であるというのが、須賀栄子先生のお考えでした。私たちは現在、この言葉を胸に、本校生徒としての価値を認識し、生活しています。

本校には、現在に至るまで、いくつかの校章がありましたが、現在使われている校章の由来は、創立者須賀家の祖先が武士の旗印として使っていた、「ス」の文字を3つ組み合わせたものです。

「ひめま」第五十二号（非売品）  
平成十年三月一日印刷発行

宇都宮市睦町一番三五号

宇都宮短期大学附属高等学校

編集人 顧問 和久 誠

発行人 生徒会長 椎名 陽介

印刷所 宇都宮市鶴田町二三五九の一

ヤマゼン印刷株式会社

0288-821-1111

印刷人 山本 征一郎

発行所 宇都宮短期大学附属高等学校生徒会

〒320

8585

TEL 028(634)4161-13番